

# 名作文庫通信

2023年 夏号



夏季特集

## 時代を先駆けた作家たち

モダン、アヴァンギャルド、シュール……、新たな文学の試み



### 【砂の女】

安部公房/著 新潮文庫/刊

砂丘の村に昆虫採集にでかけた中学校の生物教師は、砂に閉じ込められ、一人の女性と暮らすことを強制される。失敗にくじけず、何度も脱出を試み、ついに脱出に成功するが、再び砂の穴に下りていく。現代の寓話を最高度に結晶させた作品と高く評価され、20か国語以上に翻訳され、作者は、カフカ、ベケットとならぶ、国際的作家となった。



### 【一千一秒物語】

稲垣足穂/著 新潮文庫/刊

飛行機乗りになる夢は、視力が低かったためになかなか実現しなかった。前衛芸術に興味を持ち、絵を描いていたとき、佐藤春夫を知り、文学を志す。星や月など天体世界や、機械的なものをモチーフとした抽象的詩的短文集『一千一秒物語』を出版するや、モダニズム文学の新星として注目される。作者が描く文学空間は、単に、現実逃避的なメルヘンの世界ではなく、乾いた都会生活と密接に関連している。

### 「名作文庫」とは？

下井草図書館では文学、哲学、思想、歴史などの名著名作を文庫版・新書版で集め、「名作文庫」としてご紹介しています。



## 今月の1冊 心の旅を描く物語



### 【フォークナー短編集】

フォークナー/著 龍口直太郎/訳 新潮文庫/刊

斬新な語り的手法と構成とで、独自の文学を創造したフォークナー。アメリカ南部の退廃した地区に生きる人間のあさましさ、残酷さをも精緻に描写している。アメリカの一般読者には、受け入れられず、苦しい生活が続いた。むしろ、ヨーロッパで、評価が高かった。1950年にノーベル文学賞を受賞。現在では、20世紀最大のアメリカ文学者に数えられている。

## 新着本 新しく買った本のご紹介

アンクル・トムの  
小屋 (上)



Harriet Beecher Stowe  
ハリエット・ビーチャー・ストウ  
土屋京子/訳

### 【アンクル・トムの小屋 上・下】

ハリエット・ビーチャー・ストウ/著 土屋京子/訳 光文社古典新訳文庫/刊

正直で有能、分別と信仰心を持つ奴隷頭のトムは、ケンタッキーの農園で何不自由なく暮らしていたが、主人の借金返済のために、奴隷商人に売却されることに…。黒人奴隷解放の実現に大きく寄与した歴史的名著。(TRC MARKより)

### 【リヴァイアサン 上・下】

トマス・ホブズ/著 加藤節/訳 ちくま学芸文庫/刊

争いに満ちた自然状態を脱し、平和と安全をもたらす権力の成立を考察した一大古典。上は、「第1部人間について」「第2部政治的共同体について」を収録。(TRC MARKより)



トマス・ホブズ 加藤節 訳  
リヴァイアサン  
Leviathan  
【上】

## 編集後記

古書店に映画の脚本がならんでいた。フォークナーが書いた脚本があった。どうして、フォークナーがシナリオを？ きになって調べてみた。小説が売れず、生活苦から、しかたなく、ハリウッドでシナリオライターをしていたそうだ。ヘミングウェイや、チャンドラーの作品も脚色している。『脱出』『三つ数えろ』などが有名だ。二作とも、主演はハンフリー・ボガード。

発行：杉並区立下井草図書館

杉並区下井草3-26-5

